

令和6(2024)年4月1日

令和6(2024)年度入学式

学長式辞

神田外語大学外国語学部、グローバル・リベラルアーツ学部、及び大学院言語科学研究科に入学した皆さん、誠におめでとうございます。

ご家族や関係者の皆様に心よりお喜び申し上げます。

本学は、「言葉は世界をつなぐ平和の礎」を建学の理念として発足し今年で38年目を迎えます。これから皆さんが取り組む外国語学習は皆さんの人生の選択肢を広げ、世界を相手に「面白おかしく生きるため」の「素敵な入口」です。

入学後しばらくは予習復習に追われ忙しい日々が続きますが、一旦この「素敵な入口」をくぐると多様な人々や異なる文化に接する面白さを知り、考えるヒントの宝庫に出会い、更に結果として語学検定試験のスコアが急上昇し皆さんの自信がみなぎってくるのです。

私が皆さんにこの大学で身に付けていただきたいことは、何がモノゴトの本質であるかを考え、常に問いを立て続ける習慣です。モノゴトの本質を捉え、人生を謳歌し複雑な社会で逞しく生き延びる力をつけるのです。「モノゴトの本質」というと何やら難しそうでしかめ面をして考えに耽ることに聞こえますが、全く逆で、知らないことを少しでも知るともっと知りたくなるようなワクワク感、推理小説で真犯人を見つけたようなドキドキ感といった気持ちが弾むときこそが「モノゴトの本質」に近づく瞬間です。

毎日、愉快的な朝を迎えることもあれば憂鬱な日もあります。人生は何時も不確実性の中にあり、現在も未来もわからないことだらけですが、何が起きるかわ

からないから興味津々となり想像力が掻き立てられてくるのだと私は前向きに考えることにしています。具体的にどのような未来があるかを説明せよと言われても回答に窮しますが、「面白そうな未来があるのだ」と思いながらモノゴトを見ると発想が POSITIVE に広がるのです。我々人間は直ぐに答えを求めたがる傾向にあります。実際は簡単に答えが見つかるものではなく、またほとんどの問いには正解といった明確な答えは存在しません。例えば、簡単に答えが見つかりそうな身近なテーマで、自分が好きなもの、自分が進むべき道などは直ぐに答えが出るようですが、一歩止まって考えてみると「本当だろうか」と迷いが出てくるでしょう。広く目を向けて、世界の平和を作る方法、格差のない社会、地球温暖化への対策、地域創生問題などを考え始めると初歩的な基本情報や事実関係すら判らないことが多いことに気づき、新聞や本を読んでも納得がいかない怪しい解説が多いことが判ります。モノゴトを調べれば調べるほど、また、考えれば考えるほど諸課題に対する正解など簡単には見つからないものだと納得するでしょう。しかし、「何とかするぞ」、「何とかなるさ」と楽観的に考え始めると結構新しい問題意識やアイデアは出てくるものです。

皆さんはこれから神田外語大学で母語以外の言語、これは多くの学生にとっては日本語以外を学び、その過程で、多文化、異文化とのコミュニケーションを深く学びます。モノゴトの本質を考えるには、自分のことを含めモノゴトを客観的に捉えて考えることが出発点ですが、人間は自己愛が強く自分自身を冷静に見つめて分析することが得意ではありません。母語と異なる言語を学ぶと、おのずから自分の IDENTITY を考え、また母語と異なる文法構造や語彙から今まで自分が気付かなかった視点や切り口を知るのです。

さらに皆さんは思考のヒントを与えてくれるリベラルアーツを学び論理的思考力を鍛えます。そのためにも神田外語大学は外語大であるにもかかわらず親しみやすい数学的思考を必修化しました。数で事象を捉え、数で説明するとモノゴトの本質が判りやすくなることを体験し、神田外語に来たら「数学が好きになってしまった」というマジックを仕掛けています。論理的に筋道を立ててモノ

ゴトを考え、証拠、データをもとに議論をする習慣作りをすることで、モノゴトの本質を考える術を身に付けるのです。その際に、まず捨てるべきは先入観です。周りに流され、モノゴトを疑わなくなってしまうはいけません。皆さんにお願いしたいことは「モノゴトを疑って観て、批判的に考えること」、これが神田外語大学が標榜する CRITICAL THINKING です。

モノゴトの本質を捉える鍛錬の場として、留学することを是非お勧めします。留学は語学力を磨くことだけが目的ではありません。十代二十代の頭は柔らかく知識の吸収力が抜群にあり、限りある人生の中で最も感受性が豊かな時です。これまで育ってきた地域や社会と異なる環境に身を置くことで今まで見えていなかった景色が見え、当たり前だったことが当たり前でないことに初めて気がつき目が醒めるような強い刺激を受けることでしょう。自分の常識と言葉が通じない場所で一人ぼっちになって自分自身を見つめるのです。僕が今になって後悔していることは若いころに留学しなかったことです。

「モノゴトの本質を捉えるために」生成 AI との付き合い方も一緒に考えましょう。AI の機能は広がり、人生の悩みを相談するとまるで宗教家と話をしているように丁寧かつ論理的に答えてくれます。結婚相手も心理学的相性や興味的一致などの基本要素を考慮する生成 AI に決めてもらったほうが成功の確度が高いと言い切る人もいます。測定可能なもの、論理で組み立てるものでは AI が益々力をつけていくでしょう。将棋棋士の藤井聡太さんとの対局で AI が勝つ日も近いかもしれません。人間の味覚もデータ化され、人間の舌も AI にコントロールされ、我々の寿命までもが予測可能になったら私たちは朝から晩まで AI の助言に沿って生活することになるのでしょうか？自分で悩まずに AI に選択権を持たせたほうが楽だと考えるひとも出てくるでしょうが私は断固として拒否します。人間は、自分の意思をもって生きていくべきです。我々は、言葉で考え、言葉を使い、モノゴトの本質を考え続ける存在です。そのために AI を活用するのです。

本学の建学の理念は「言葉は世界をつなぐ平和の礎」です。

私はこの理念を、「対話を通じて他者と理解共感し、違いを乗り越えようとするもの」と解釈しました。私はこの言葉がストンと腑におちビジネスマンから学長に転じました。

今日から皆さんとこの言葉を共有します。皆さんはこの言葉をどのように考えますか。来週から福島県にある「ブリティッシュヒルズ」で始まるオリエンテーションキャンプで私と議論しましょう。

最後に建学の理念をご唱和ください。

あとに続いてください。

「言葉は、世界をつなぐ、 平和の礎」

モノゴトの本質が何であるかを考える重要な手段となる CRITICAL THINKING 力を鍛え素敵な大学生活、大学院生活を送ってください。

本日は誠におめでとうございます。

神田外語大学 学長 宮内孝久